

愛惠会だより

2022年冬号



【上の写真】↑

9月の初めにボディペイントをしました。初めてのことで怖がる子もいましたが、ほとんどの子が楽しめました。帰って来ると自分からたくさん絵の具を体につけていました。

色はごちゃ混ぜになってしまって、くすんだ感じになってしまいました・・・。

【横の写真】→

みんなで作ったクリスマスツリーを合わせて大きなツリーを作りました。まだ1人でシールを剥がせない子はお友だちに手伝ってもらいながらシールを貼りました。お部屋で一番のお兄さんは折り紙でセンターさんを作りました。



行事報告 ~HugHugへ行ってきました~



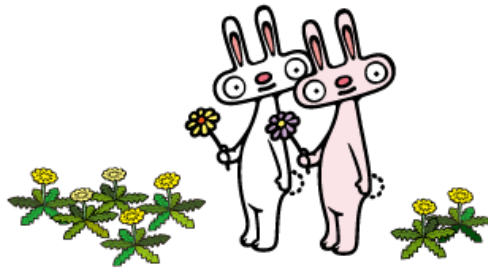
9月、幼児ホームのみんなで大形バスに乗って京王あそびの森 HUGHUGへ遊びに行きました。はじめてはちょっぴり怖かったけれど、大きなネット遊具やトランポリンで身体をいっぱい動かしたり、ミニSLに乗って園内をぐるっと回ったり、とっても楽しい遠足になりました。

©京王遊びの森 HUGHUG



『はぐはぐ』のおねえさん、おにいさん。ばすのうんてんしゅさん。

とってもたのしかったよ。ありがとう。 



©京王遊びの森 HUGHUG



ホームのご紹介 ~ひよこ・うみ~

乳児ホーム・ひよこです。

低月齢児が多くおり、腹這い運動を行ったり、メリーを見たり、吊り玩具で遊んだり、マット上での遊びがメインとなっております。

触れ合い遊びもみんな大好きで、養育者が言葉掛けをするとにっこり微笑んだり、「んー」「あー」等と喃語でお話してくれます。



言葉掛けをするとじっと見つめていた子どもが笑う様になったり、腹這いで顔がしっかりと前を向ける様になったりと、成長が著しく出来る事が急に増えるので驚きがいっぱいの毎日です。



幼児ホームのうみです。

月齢幅のある幼児ホームでは高月齢児が低月齢児のお世話をしたり、低月齢児が高月齢児のしていることを真似したりする姿がよく見られます。また月齢の近い子同士では別々の遊びをしていますが自然と一緒に遊び始めることもあります。

風邪や感染症が流行る時期でもあるので、お散歩に行けない日には机上遊びだけでなく食育として簡単なデザートを作る事があります。自分で作った物を食べる経験はなかなかできないので、子ども達も興味津々で、出来上がった物をみんなで美味しく食べています。



冬のおすすめレシピ ~ポトフ~

- 鶏肉は 1 ロサイズのころころに切って煮る。ウインナーの場合は小口切り、ベーコンの場合は 2~3 cm位で細長く切る。
- ジャガイモ・玉ねぎ・人参・キャベツは 5 mm~1 cmの角切り、しめじは粗目のざく切りにして鶏肉の鍋に入れ、アクをとりながら一緒に煮込む。
- 鶏肉に火が通り、野菜が柔らかくなったら、チキンブイヨンを入れ、味を見ながらさらに煮込む。



材料 こども 1 人前
鶏もも肉 (皮無し) 15g
じゃが芋 10g
玉ねぎ 10g
人参 10g
キャベツ 10g
しめじ 5g
チキンブイヨン 2g
水 80g
・鶏肉をベーコンやウインナーに変えても◎。

お好きなお野菜で。

今回は冬のおすすめレシピとして寒い日にぴったりの簡単煮込み料理、ポトフをご紹介させていただきました。お鍋 1 つで煮込むだけなので、色々な具材で是非、『我が家のポトフ』を見つけて下さい。



こどもたちの作品 ~みんなで作ったよ~

自分だけのキラキラ ✨ のお星さまと、カラフルで綺麗な花火が打ちあがりました。
冬のお星さまも花火も、ステキでしょ ♡



地域支援～ショートステイについて～

愛恵会乳児院では、町田市、八王子市、世田谷区からショートステイを受け入れています。

ショートステイとは、お子さまを養育している家庭の保護者の方が病気、出産、冠婚葬祭、出張、育児疲れなどの理由で、家庭における養育が一時的に困難となった場合に、お子さまを施設内にて一定期間お預かりする、宿泊を伴ったサービスです。

実はショートステイを利用されるご家庭の中には、預けることに抵抗のある親御さんが少なくありません。では、ショートステイの利用は特別なことなのでしょうか？

◆施設長コラム～アウエー育児とショートステイの役割

国の調査によれば、回答者の母親自身が育った市区町村で子育てしているとの回答割合は、全体では27.8%で、7割以上の母親は自身が育っていないまちでの“アウエー育児”を行っています。「近所に子どもを預かってくれる人がいる」との回答割合は、全体では39.9%で、6割の母親は「子どもを預かってくれる人がいない」と回答しています。

“子育て支援”を利用している母親に対し、利用する前の自身の子育ての状況をたずねたところ、「子育てで、つらいと感じることがあった」(62.6%)、「家族以外の人と交流する機会があまりなかった」(57.2%)、「子育ての悩みや不安を話せる人がほしかった」(55.4%)、など、子育ての不安や悩みを相談・共有するニーズがありました。

虐待による死亡事例のうち、心中以外の虐待死(56例)について、“子育て支援”を利用しているのは32.1%(18例)に止まっています。このうち、最も利用されている事業は「乳児家庭全戸訪問事業」の15例であり、要支援・要保護児童を主な対象としている「養育支援訪問事業」は2例、「子育て短期支援事業」は0例となっていました。

ショートステイは、「子どもを預かってくれる人がいない」母親の安心のためにも必要なのだと思います。虐待による死亡事例で「子育て短期支援事業」(ショートステイ)の利用例が0例となっていますが、利用できていたら子どもを死なせなかったのかもしれませんが。

愛恵会乳児院 ショートステイ・ベビーCoCo 問い合わせ先

○町田市／町田市子ども家庭支援センター 042-724-4419

○八王子市／八王子市子ども家庭支援センター 042-656-8225

○世田谷区／各子ども家庭支援センター お住まいの地域によって異なります。

(区のホームページをご覧ください。)

ありがとう～ボランティアさん、いつも感謝しています～

愛恵会には、何人も心を掛けていただいているボランティアさんがいらっしゃいます。今回は、毎月お花を持ってきてくださる〇様をご紹介します。

いつも素敵なアレンジを持ってきてくださいます。子どもたちは2階のホールに行く時に、飾ってある場所の前を通ります。子どもたちは新しいお花をみつけると、「おはな！」と指を指し、歓声を挙げる子、色や名前を職員に訊いてくる子、反応は様々です。お花はあるだけで子



どもが笑顔になるから、不思議です。また〇様は、お花の名前を書いたカードもつけてくださいます。名前が分からない職員は、重宝しております。

〇様、いつも細やかな心配りと、温かいお気持ちをありがとうございます。



インフォメーション ～CoCoひろば～

<対象>

0歳～3歳のお子さまと
保護者様

<日時>

毎週火曜日
10:00～12:00

<場所>

愛恵会乳児院 B棟

愛恵会乳児院では子育てひろば～CoCoひろば～を行っています。ぜひお越しください。

お待ちしております。

〇ご予約は不要です。直接お越しください。

〇感染症等によりお休みをすることもございます。最新の情報はホームページをご覧ください。ただか、直接お問い合わせください。

(042-773-2806)

発行日：2022年12月

発行責任者：黒田邦夫

編集：愛恵会乳児院 広報委員会